

浴室用換気乾燥暖房機

(壁面埋込タイプ)

工事説明書 (取扱説明書・保証書別添付) 販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みください。
取付工事は販売店さま・専門の工事店さまが実施してください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限 (内装材の制限、可燃物との距離の制限など) がありますので詳細は、行政官庁または消防署にお問い合わせください。

別冊の取扱説明書・保証書はお客さま用です。必ずお渡しください。

- ・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法、お手入れ方法を説明してください。
- ・この工事説明書は取扱説明書と共に保管して頂くように依頼してください。

安全上のご注意

- 取付けの前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

警告 この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示 (例) で区分し説明しています。

警告 この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な注意) が描かれています。

禁止 この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容 (左図の場合は一般的な禁止) が描かれています。

強制 この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な強制内容 (左図の場合は一般的な強制) が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の人**は、絶対に分解・修理は行わないでください。
・発火したり異常動作をしてけがをすることがあります。
- アース**が確実に取り付けられ、漏電遮断器の設置を確認してください。
・故障や漏電のときに感電することがあります。
- 取付は、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実に行ってください。

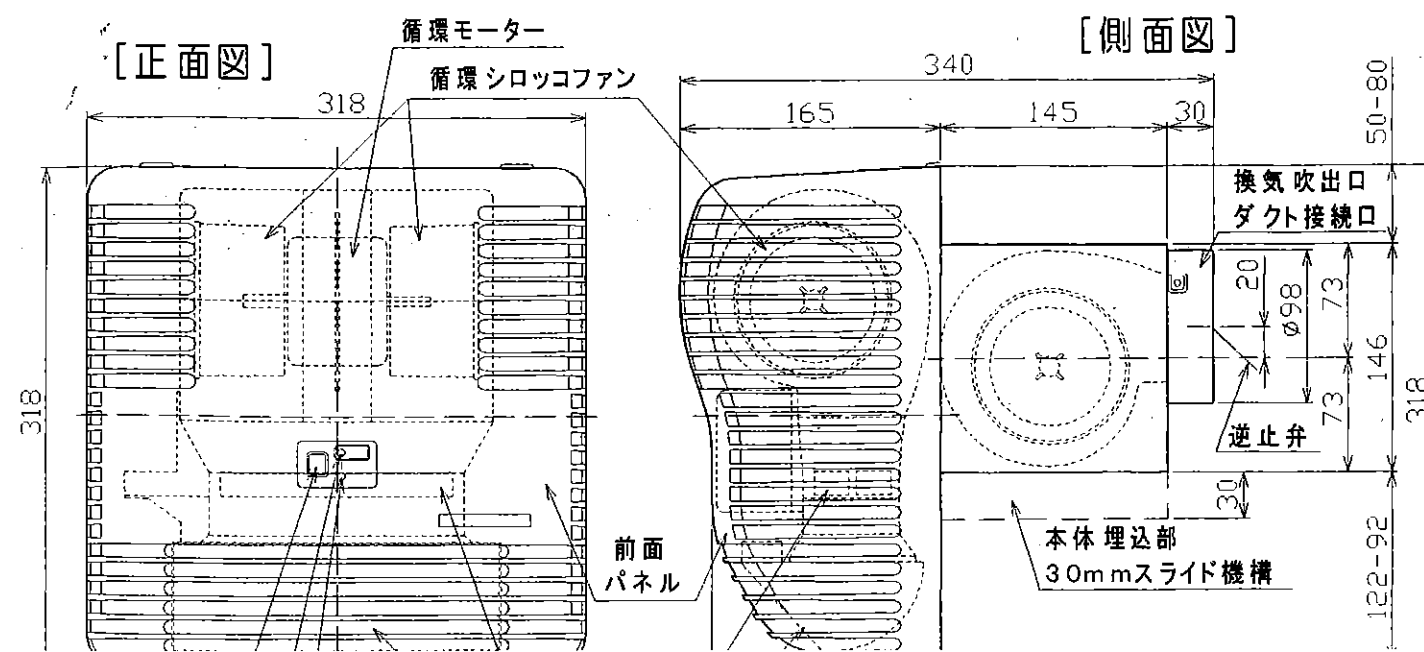
取付のご注意

- この浴室用換気乾燥暖房機の重量は 6.5kg あります。取付面が弱い場合は、補強剤で十分に強度をもたせてください。強度不足の場合、本体落下等の原因となることがあります。取付木枠等を必ず設置してください。
- 本機を外壁面に取り付ける場合、市販のウェザーカバーを必ず取り付けてください。また、湿気や雨水等の侵入のないように確実にコーキング等を行ってください。不完全な場合は、建物の劣化を早めることがあります。

- 東京消防庁管内では製品の取付けには、下記の基準が適用されます。
(その他の地域では、その地域に行政官庁または消防署にお問い合わせください。)
注) 通常の取付けで外壁面に本機を設置し、排気ダクト配管をしない場合は、下記の⑤⑥は、適用されません。

- ①機器本体
適合機器本体の可燃物等からの保有距離は、製造業者等が指定する距離で設置できるものであること。(本機は側面・裏面共、密着 (0 mm) 設置が可能です。)
- ②取付け
機器は、壁面等に堅固に取り付けること。
- ③造営材等を設けない範囲
浴室内への温風吹出口および空気吸入口の前方 10cm 未満の範囲内には、造営材等 (乾燥する衣類を含む) を設けないこと。
- ④漏電遮断器
漏電遮断器を設けること。
- ⑤排気ダクト (ダクトを使用する場合)
ダクトは不燃材料で専用とすること。但し、一つの住戸内に洗面所、便所、その他これらに類する室のダクトと接続される場合で、洗面所等のダクトが不燃材料で造られている場合はこの限りでない。
- ⑥点検口 (外壁面に設置する場合は、必要ありません。)
機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口 (容易に点検・清掃できる構造のものを除く) を設けること。

外形寸法と各部の名称



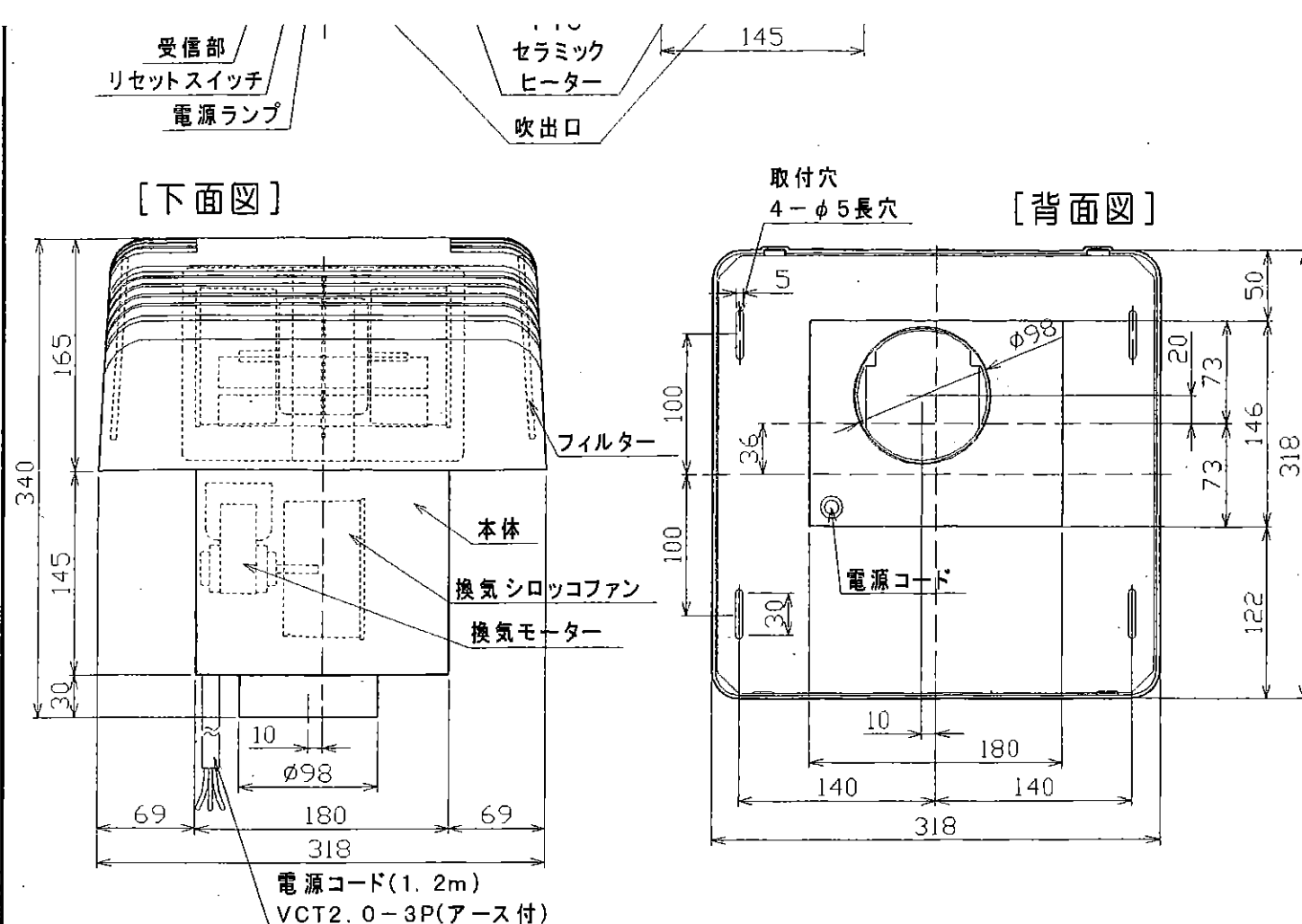
- ❌ 内釜式風呂を設置した浴室では使用しないで下さい。
・排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
- ❌ 運転中に機器から異常音や異臭が感じられたら、使用を中止し分電盤のブレーカーを切ってください。
・異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。
- ❌ 本体やリモコンに直接水やお湯、カビ取り剤などをかけないでください。
・ショートや感電することがあります。
- ❗ メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、電氣的に接触しないよう取付てください。
・漏電した場合、発火することがあります。

⚠ 注意

- ❌ 交流100V以外では使用しないでください。(電源接続は確実に)
・火災や感電の原因になります。
- ❌ 運転中にフロントパネルをはずさないでください。
・感電やけがをする恐れがあります。
- ❗ 配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、確実に行ってください。
・接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
- ❗ リモコンは脱衣室など浴室の外に取り付けてください。
・防水構造になっておりませんので、故障の恐れがあります。
- ❗ 部品の取付は確実に行ってください。
・落下によりけがをする恐れがあります。
- ❗ 本体の取付けは十分強度があるか確認してください。
・落下によりけがをする恐れがあります。
- ❗ 本体やウェザーカバーの取付は、工事説明書に従って確実に行ってください。
・不完全な場合は、湿気や雨水が浸入し建物の劣化を早めることがあります。

お願い

- 電源は専用回路とし、途中にスイッチを設けしないで下さい。(火災や感電の原因)
- 電源の接続は確実に行ってください。(接続部が加熱して発火の恐れがあります。)
- 高温になる場所(周囲温度40℃以上)で使用しないでください。
(モーターの寿命を早めたり、故障の原因になります。)
- スチームサウナ付の浴室や温泉で使わないでください。(故障の原因になります。)
- 天井には取り付けしないでください。(落下によりけがをすることがあります。)
- 効果的な換気のため、吸気口を設けて下さい。(有効開口面積100cm²以上)
- スプレーや有機溶剤を使う場所で使わないでください。(故障の原因になります。)
- 洗濯物はパネルの吹出口より、10cm以上離してください。
(能力の低下や故障の原因になります。)
- 気密性や断熱性の悪い浴室においては、本機の性能が十分に発揮できない場合があります。乾燥運転や暖房運転は、必ず窓を閉めて運転してください。
- 外壁面には、市販のウェザーカバーを必ず取り付けてください。
- 換気ダクト接続をする場合は、次のことに注意してください。
・ダクトを90°以上極端に曲げない。 ・ダクトを多数曲げない。
・ダクトを換気口のすぐそばで曲げない。 ・ダクト径の極端な絞りをしない。
・ダクトは屋外に向かって1/100以上の下り勾配にしてください。
- 運転中は危険ですから、ファンの中などに指やものを入れないでください。
(感電やけがの恐れがあります。)



リモートコントローラ

発信部

本機へ操作信号を送信します。

液晶表示部

現在の運転状況や時刻等を表示します。

表示切替スイッチ

「現在時刻」「残り時間」「入タイマ」の表示切替えをします。

UP/DOWNスイッチ

設定時間や現在時刻を設定します。

乾燥モードスイッチ

湿風と換気を同時運転します。強弱切替可能。

暖房モードスイッチ

湿風のみを運転です。強弱切替可能。

涼風モードスイッチ

送風と換気を同時運転します。強弱切替可能。

換気モードスイッチ

換気のみを運転です。

運転スイッチ

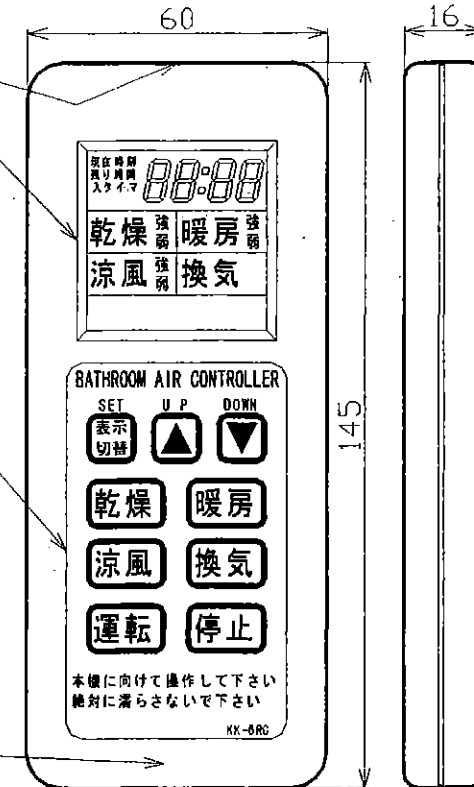
前回の設定で動くワンタッチ運転機能や予約運転の設定時に操作します。

停止スイッチ

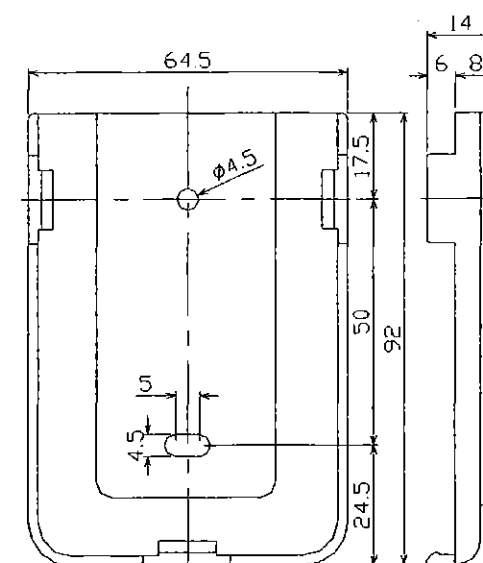
運転を停止します。

乾電池部(裏面)

アルカリ乾電池(単4X2本)を使用します。



リモコンホルダー



■その他の付属品

●本体取付ビス

トラス4X30-4本

●リモコン取付ビス

トラス4X20-2本

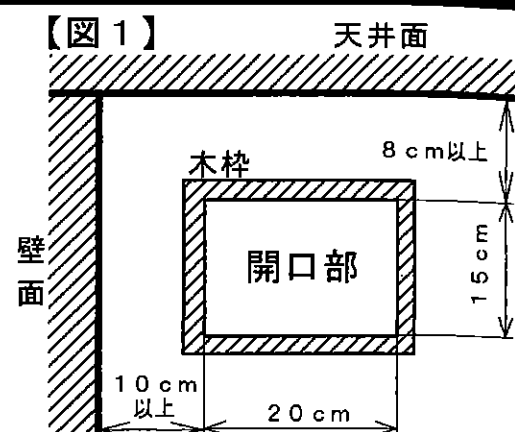
●クランプコネクタ

電源接続用-3個

1. 取付け前の準備 (取付穴がある場合は、開口寸法を確認)

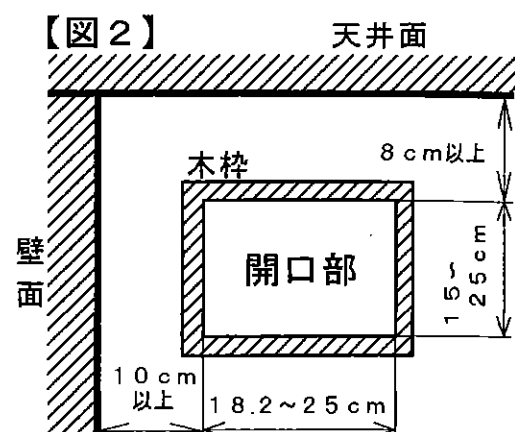
《新規取付を行う場合》

- 図1を参考にして、開口を開けてください。
木枠の板厚は15mm以上を使用してください。
- 新規に取付を行う場合は、開口寸法(内寸)を150X200mmとしてください。
- 取付穴の開口は、天井や左右の壁から図1のように離して開けてください。



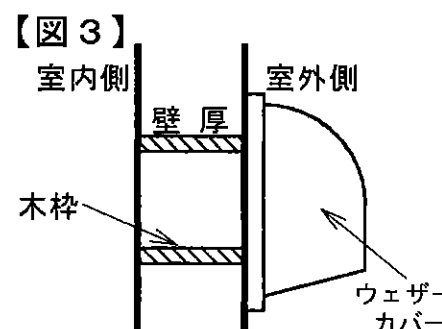
《現行開口を利用する場合》

- 図2の開口があることを確認してください。
- 取付可能開口寸法は150X182~250X250mmです。本体埋込部が上下に30mmスライド機構になっておりますので、それを考慮して取付可能か確認してください。
- 取付穴の開口は、天井や左右の壁から図2のようになっていることを確認してください。



《ウェザーカバー・フードの取付》(別途手配)

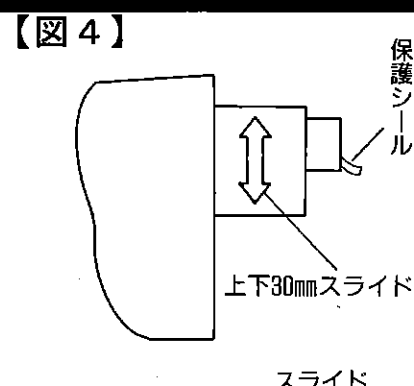
- ウェザーカバーが取り付けられていない場合は、雨風などの侵入防止のため必ず取り付けてください。
- 図3のように、取り付けてください。
詳細の取付方法は、フードの種類によります。
- 木枠の下部に室外側に向きに傾斜を付けて、雨水の侵入を防いでください。



- 注意事項**
- 開口部から雨水や水滴の侵入がないようにコーキング処理等を行ってください。
不完全な場合、建物の劣化を早める場合がありますので注意してください。
 - 取付ネジは確実に締め付けてください。騒音や振動の原因になります。
 - 本機を取付の際に、シャッターがフードに当たらないことを確認してください。

2. 本体の取付

- 上記の開口寸法の確認を必ず行ってください。
- 図4のように、本体埋込部は上下30mmのスライド機構となっております。スライドさせる必要がある場合は、図5のスライド固定ビス(4本)をゆるめて、スライドさせて必ず再度固定してください。
- 出荷時には換気シャッター部に保護シールが貼っておりますので、必ず外してください。



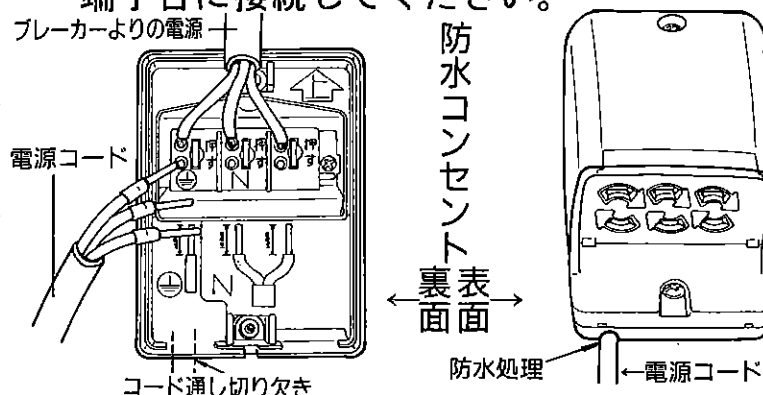
- ① 図6を参考にして、全面パネルを取り外す。 【図5】

4. 配線接続工事

- 注意**
- 必ず専用の漏電遮断器(15A以上)を取付け、専用回路としてください。
 - 緑色リード線を必ずアース接続工事をしてください。(第3種設置工事)
 - 分電盤等からの電源工事は必ず有資格者が作業を行ってください。
 - 配線コードはVVFφ1.6(φ2.0)か同等品の2~3芯を使用してください。
細い心線のコードを使用すると、発熱により発火の恐れがあります。
 - 端子の接続部は、絶対に濡らさないよう防水処置を行ってください。
 - 電源コンセントは、絶対に使用しないでください。
 - 電源は必ずAC100Vを使用して、確実に配線を行ってください。間違った電源を使用したり不十分な配線をする、火災や故障の原因となります。

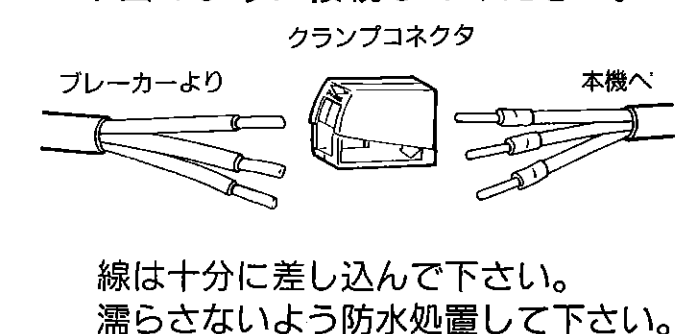
【例1】速結端子台に接続する場合

電源コードに付属の棒端子を直接端子台に接続してください。



【例2】コード同士を接続する場合

付属のクランプコネクタを使用して下図のように接続してください。



《壁スイッチを経由した現行の電源を利用する場合の注意》

- 本機は電気容量1400Wを必要としますので、壁スイッチを電源スイッチとしては絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。
- この場合は、必ず壁スイッチの配線を取り外して直結してください。
通常、浴室に使用される壁スイッチの容量は、4A程度ですから容量不足です。

5. 試運転の仕方

- 取付工事が終わりましたら、取付状態はしっかりしているか、電気配線・アース接続など誤りはないか再確認の上、下記の手順に従って正常に運転できるか、また本体の取付が確実で、振動・異常音のないことを確認してください。
- 本機はコードレスリモートコントロールタイプですから、必ずリモコンを本機に向けて操作してください。ホルダーに入れた状態で操作しても本機は動作しません。

- ① 電源を入れると、本機の運転ランプ(赤)が点灯します。 【図10】
運転ランプが点灯しない場合は、電源配線やブレーカー等を確認してください。また、リモコンの操作を本機が受け付けたときは、本機から受信音(ピッ)を出します。受信音がしない場合には、リモコンを正確に本機に向けて操作してください。

- ② リモコンの現在時刻を設定してください。(図10)

- (1) 表示切替スイッチを押して現在時刻を表示させます。
- (2) UP/DOWNスイッチを同時に2秒以上押すと現在時刻設定モードとなり、時計表示を点滅します。
- (3) UP/DOWNスイッチで現在時刻を合わせる。
1秒以上押し続けた場合は、10分単位で増減します。

リモコン正面図



ウェザーカバーに先に通して、本体を開口部に入れる。

- 注) 余分な電源コードを本体と木枠との間の隙間の部分に、収納してください。
メンテナンス時に作業がしやすくなります。
- 注) 電源コードがシャッターに当たったり、はさみ込んだりしないようにしてください。

③図5の本体取付ビス(トラス4×30-4本)で本体を固定する。

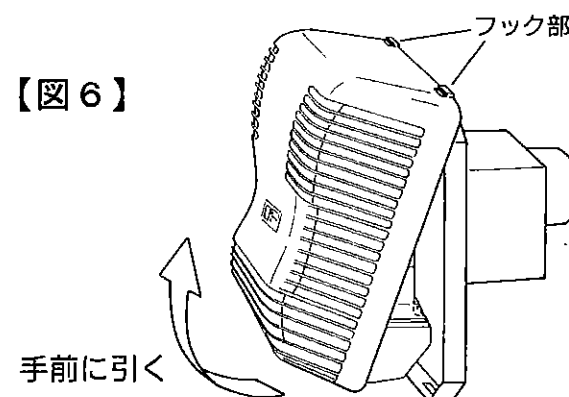
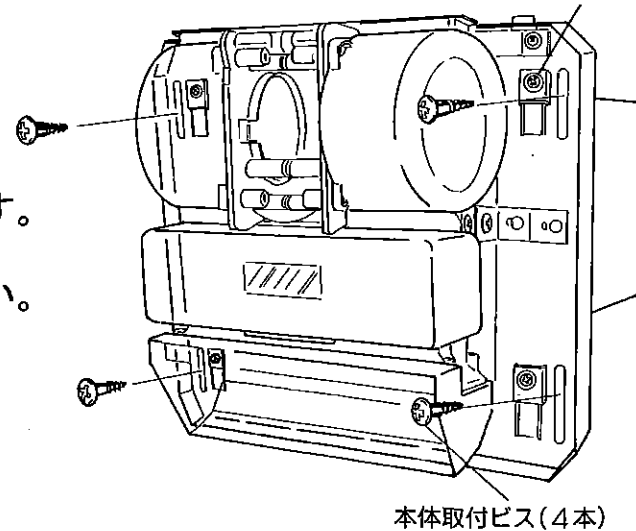
注) 取付ビスは確実に締め付けてください。振動や騒音の原因になります。

注) 本体の取付裏面には、モール(スポンジ)が貼ってありますが、取付上で隙間等が発生する場合はコーキング処理等やアルミテープ処理等を行ってください。すきま風などで肌寒く感じられるたり、雨水の浸入等の原因になります。

④図6を参考にして、全面パネルを取り付ける。このとき、フィルター(2枚)が確実に挿入されていることを確認してください。

《ダクトの接続を行う場合》

- 排気ダクト(φ100)は風漏れのないように確実にアルミテープで固定してください。
- 排気ダクトは、屋外に向かって約1/100程度の下り勾配にしてください。
- 排気ダクトの外壁面には、市販のベントキャップ・パイプフード等を付けてください。ベントキャップ・パイプフードの防虫網付(細目)は絶対に使用しないでください。目詰まりにより、排気量が低下する恐れがあります。

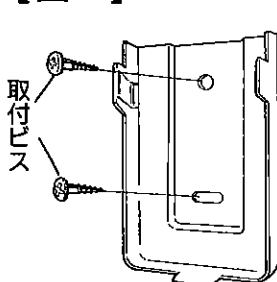


3. リモコンの取付

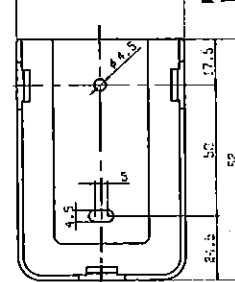
- 本商品はコードレスリモートコントロールタイプですから、必ず付属のアルカリ乾電池単4×2本を入れて、使用してください。
- リモコンは必ず浴室の入口(脱衣室側)の操作しやすい場所に設置してください。
- リモコンは完全防水構造にはなっておりませんので、浴室内に設置したり、水に濡らさないように注意してください。

- ①図7のように付属のホルダーを取付ビス(4×20-2本)固定してください。
- ②図8のようにリモコンの裏側の電池ボタンを開けて、付属のアルカリ乾電池単4×2本を入れてください。このとき、⊕⊖を間違えないようにしてください。
- ③図9のようにリモコンをホルダーにセットしてください。

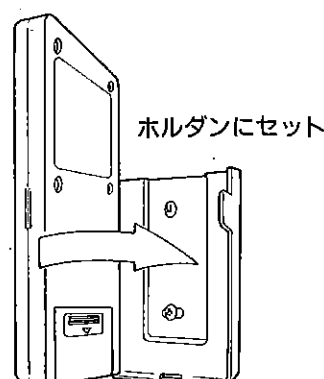
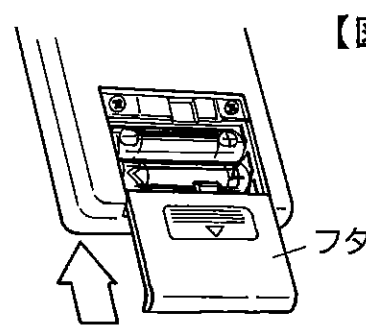
【図7】



【図8】



【図9】

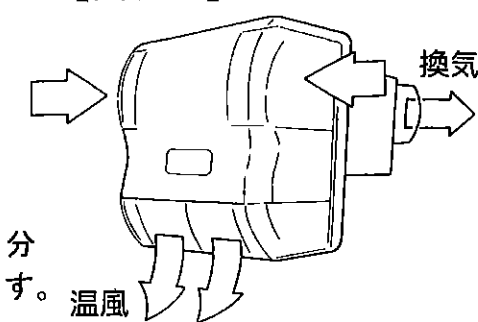


③各モードにて運転し、動作を確認します。

①乾燥運転(図11)

- (1) リモコンを本機に向けて乾燥スイッチを押すと、受信音(ピッピッ)がして、乾燥運転します。液晶表示部に乾燥と強弱と設定時間の表示をして、温風を出しながら換気を行います。
- (2) 再度、乾燥スイッチを押すと温風の強弱切替が可能です。換気風量の強弱切替はできません。
- (3) タイマーはUP△/DOWN▽スイッチを押すことにより30分~12時間まで30分単位で設定が可能でメモリー機能付きです。
- (4) 途中で停止するときは停止スイッチを押します。

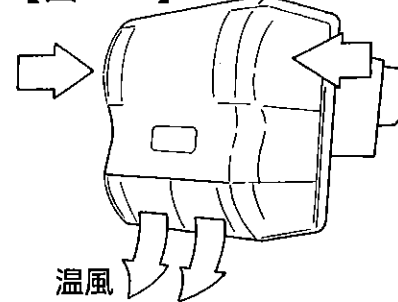
【図11】



②暖房運転(図12)

- (1) リモコンを本機に向けて暖房スイッチを押すと、受信音(ピッピッ)がして、暖房運転します。液晶表示部に暖房と強弱と設定時間の表示をして、温風のみを出します。
- (2) 再度、暖房スイッチを押すと温風の強弱切替が可能です。
- (3) タイマーはUP△/DOWN▽スイッチを押すことにより30分~12時間まで30分単位で設定が可能でメモリー機能付きです。
- (4) 途中で停止するときは停止スイッチを押します。

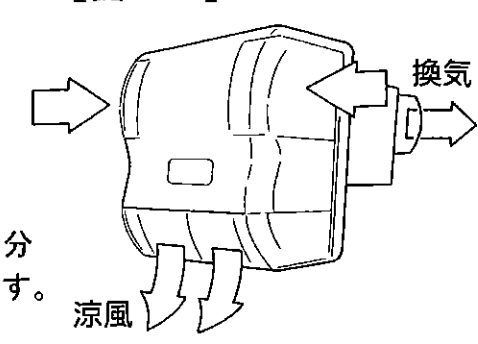
【図12】



③涼風運転(図13)

- (1) リモコンを本機に向けて涼風スイッチを押すと、受信音(ピッピッ)がして、涼風運転します。液晶表示部に涼風と強弱と設定時間の表示をして、涼風を出しながら換気を行います。
- (2) 再度、涼風スイッチを押すと涼風の強弱切替が可能です。換気風量の強弱切替はできません。
- (3) タイマーはUP△/DOWN▽スイッチを押すことにより30分~12時間まで30分単位で設定が可能でメモリー機能付きです。
- (4) 途中で停止するときは停止スイッチを押します。

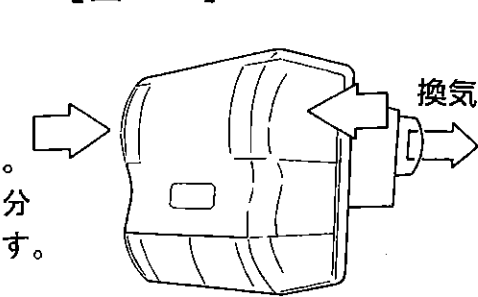
【図13】



④換気運転(図14)

- (1) リモコンを本機に向けて換気スイッチを押すと、受信音(ピッピッ)がして、換気運転します。液晶表示部に換気と設定時間の表示をして、換気を行います。
- (2) 換気の場合は、換気スイッチを押しても強弱切替はできません。
- (3) タイマーはUP△/DOWN▽スイッチを押すことにより30分~24時間まで30分単位で設定が可能でメモリー機能付きです。換気連続運転は表示を(---)と設定してください。
- (4) 途中で停止するときは停止スイッチを押します。

【図14】



④その他の予約設定等に関しては取扱説明書を参照して動作を確認してください。

6. 衣類吊り下げ用パイプの取付 (別途手配部品)

■衣類吊り下げ用パイプは、浴室に図15の寸法で取付けてください。

- パイプを購入される時は必ず1本当たり10Kg以上の重量に耐える不燃性と耐蝕性の品物を選んで取り付けてください。
- パイプの取付位置は必ず指定の寸法で取付けてください。(指定の寸法以外で取付けますと乾燥時間が長くなります。)
- パイプの取付けは、十分強度が得られるよう補強剤などを入れ確実に行ってください。

【図15】

